



親から子へつなぐ
悠久の森 源流の里
にしめや

広報 Nishimeya

にしめや



No.700



青の煌めきあおもり国スポ
2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会

カヌー競技会
スラローム・ワイルドウォーター

カヌー競技会
スプリント

終了しました

開催 13日
まであと



白神のまなびやよりP.2～3
いきいき健康広場P.4
白神だよりP.5
消防だより

議会定例会P.6
津軽広域連合だよりP.7
お知らせP.8～11
ズームアップにしめやP.12

自神のまなびやより

たしる保育園

暑かった夏も終わりを迎え、朝夕の風に秋の気配を感じるようになりました。先日テレビで天気予報士の方が、9月の下旬から10月の中旬頃までが「1年で一番過ごしやすい季節」と話しておりました。私個人は暑さを感じる夏の季節が好きですが、たしかに保育園を運営する身としては、熱中症のリスクも一気に下がる（そして光熱費も下がる笑）『暑すぎず寒すぎない』この時期が一番過ごしやすいのかもしれませんが。

一方で過ごしやすい時期ではありますが、日中と朝の気温の寒暖の差で、子どもも大人も体調を崩しやすい時期とも言われておりますので、地域の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛ください。また農作業をされている方におかれましては、いよいよ一年で一番お忙しい農繁期を迎えるかと思えます。天候に心を配りながら、毎日朝早くから作業に励まれる皆さまのご苦勞に、心より敬意を表します。忙しい時期だからこそ、どうかお身体を大切にお過ごしください。

さて、秋といえば「実りの秋」です。

先日園庭で子ども達が元気に走り回って遊んでいる様子を事務室から眺めていたら、一人の子が転んでしまったのを目にしました。以前なら泣いて保育者の助けを求めていた子です。私は慌てて事務室から外に出てその子のもとに駆け寄ると、その子は自分で立ち上がり、服についた砂を払いながら、何事もなかったように友達のところへ戻っていきました。その姿に目頭が熱くなり、「大きくなったな」と感じました。

また、別の場面では、1歳児の子ども達が外遊びに出る準備をしていた時のことです。玄関で靴を一人で頑張って履こうとするものの、なかなか上手くできずにいました。私はその様子を見ており、思わず即座に手を差し伸べたくなったのですが、側にいた担任の保育士が「頑張っているね、もしかするとこうやって履くといいかもよ」と言って靴の向きを整えて、その子が足を入れると自分で履くことが出来ました。「できたね、頑張ったね」と担任が声を掛けると、その子は嬉しそうに笑い、誇らしげな表情を見せてくれました。

大人から見れば、『靴を履く』というのは日常の何気ない動作です。しかし子どもにとっては、自分でやってみようとする気持ち、上手くいなくても諦めずに繰り返す力、そして「自分でできた」という自信につながる大切な経験です。

子どもの成長は、毎日劇的に変化するものではありません。昨日と今日を比べただけでは気づかないこともあります。しかし、日々の遊びや生活、友達との関わり、様々な経験が少しずつ積み重なり、ある瞬間に「こんなことができるようになったんだ」と、その成長に気づかされます。

植物も種を蒔いてすぐに実を結ぶわけではありません。土のなかで根を張り、芽を出し、太陽の光や雨を受けながら、時間をかけて成長していきます。

子ども達の成長も同じです。一人ひとり成長の速度も、得意なことも、興味を持つものも違います。だからこそ、周囲の大人が焦らず、その子らしい成長を見守ることが大切なのだと思います。

秋は子ども達の『心身の成長』を改めて感じる事ができる季節です。

園で過ごす一日一日、児童クラブで過ごす一日一日が、子ども達にとって豊かな経験となり、その経験がやがて大きな『実り』につながっていくことを願っています。

実りの秋。子ども達や児童の小さな変化や成長を見逃さず、家庭とその成長の喜びを分かち合いながら、『実り豊かな秋』を過ごしていきたいと思えます。

たしる保育園
園長 對馬 大輔

日本の航空網の中核を見学しました～JAL工場見学～

夏休み中の8月19日に、今年度も6年生が羽田空港の近くにあるJALスカイミュージアムと飛行機格納庫の工場見学ツアーに出かけてきました。

6年生12名のうち、約半分の子が飛行機に初めての搭乗となりました。飛行機が離陸する際には「うわあ」と大きな歓声を上げていました。

羽田空港に到着後、モノレールに乗ってJALスカイミュージアムに移動しました。みんながそれぞれ、コックピットの座席に座ったり、フライトのシミュレーションを体験したりしました。また、パイロットやキャビンアテンダントの制服を試着し、少し大人になった気持ちになりました。

その後、飛行機格納庫を訪れ、駐機してあった飛行機の大きさに驚いていました。ガイドさんとともに飛行機の近くまで行って、飛行機の運行や機材に関わるお話を聞いたり、滑走路から飛行機が飛び立つ様子を間近で見学したりしました。日本の航空網の中核を見学することによって、大きな学びや様々な気づきがあったとても充実した一日となりました。

この事業は、沢田内科医院の澤田直也先生が、本校児童のためにと贈ってくださった寄付金を活用して行われました。お陰様で、子どもたちは羽田空港が果たしている航空網の役割や、飛行機の運行に関わる様々な仕事の中身について学ぶことができました。JAL工場見学で学んだことを、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。澤田先生、今年度も本当にありがとうございました。



西目屋村保健協力員からの健康メッセージ 『ちょっとした 少しの痛み みのがすな』

いきいきポイント1

がん検診受診率 50 % 達成に向けた集中キャンペーン月間

がんは、日本人の2人に1人が罹患し、そのうち、3人に1人が亡くなっています。昭和56年から我が国の死因第1位（特に男性は肺がん、女性は大腸がん）であり、令和7年は年間約39万5,500人が亡くなっており、今後も、人口の高齢化に伴い死亡者数の増加が見込まれています。

がんによる死亡者数を減らすためには、早期発見・早期治療が重要です。このため国では、毎年10月を「がん検診受診率 50 % 達成に向けた集中キャンペーン月間」と定

めています。この期間中にがん検診への関心を少しでも高め、がん検診をぜひ受けましょう！

【キャッチフレーズ】

「がん検診 愛する家族への 贈りもの」

いきいきポイント2 インフルエンザについて

10月1日からインフルエンザの予防接種が始まっています。村では特に症状が重症化しやすい「0歳から高校3年生」及び「60歳以上」を対象にインフルエンザ予防接種費用の一部もしくは全額を助成しています。

インフルエンザにご注意ください

～ 夏から流行が始まっています ～

「インフルエンザは冬に流行するもの」と思っていないですか？
今年、夏の時期からインフルエンザの患者が増えており、全国的に流行が早まっています。
青森県でも8月中旬には流行開始の目安を超えました。
例年より早い流行となっているため、今から感染予防を心がけることが大切です。

青森県でも流行開始の目安を超えています！

定点当たり報告数

1.71人

(2026年第33週・8月10日～16日)

感染を広げないために、できること

1 手洗いを習慣にしましょう

外から帰ったとき、食事の前、トイレの後などは、石けんと流水で丁寧に手を洗いましょう。

2 こまめに換気しましょう

人が集まる場所では、定期的に換気を行い、室内の空気を入れ替えましょう。

3 体調を整えましょう

十分な睡眠、バランスのよい食事、適度な運動を心がけ、日頃から体調を整えましょう。

4 体調が悪いときは無理をしない

発熱や咳、のどの痛みなどの症状がある場合は、無理に外出せず、周囲への感染を広げないように配慮しましょう。

予防接種について

インフルエンザワクチンには、発症をある程度抑え、重症化を予防する効果が期待されています。接種を希望する方は、接種時期について医療機関に早めに相談しましょう。

特に、こんな方はご注意ください

- ・ 高齢の方
- ・ 基礎疾患のある方
- ・ 乳幼児 など

(重症化のリスクが高い方)

インフルエンザ豆知識

Q インフルエンザの潜伏期間は？
A 1～3日です。

Q インフルエンザは熱が下がれば出席(出勤)してもいい？
A 熱が下がって2日以上たち、症状が軽快してからです。

家族みんなで感染予防を！

【今月のいきいき Day】

日 程	行事名	備 考
10月8日(木)	歯っぴーデー	歯ブラシを交換しませんか？ 意識的に歯磨きをしてみましょう。
10月9日(金)	乳幼児健診	対象者には事前に案内文をお送りしています。忘れずに受診しましょう。
1月31日(日)まで	個別健(検)診、個別婦人検診	年1回、体の状態を把握し、健康の維持増進に活用しましょう。役場住民課窓口で随時受付しています。
備考参照	予防接種 (季節性インフルエンザ・高齢者肺炎球菌・新型コロナ)	対象者に個別案内しています 助成期間：季節性インフルエンザ・新型コロナ 10月1日～来年1月31日 高齢者肺炎球菌ワクチン(任意分) 10月1日～来年3月31日

管理栄養士 稲宮麻耶の食育だより カルシウムをコツコツ摂取！骨粗しょう症予防

「骨粗しょう症」は骨の密度が低下してもろくなる病気で、日本では推定1,500万人以上が罹患しているといわれています。骨の健康には毎日の食事が大きく影響するため、骨の主成分であるカルシウムを十分に摂取することが重要です。

厚生労働省「日本人の食事摂取基準2025」では、成人のカルシウムの推奨量は次のように設定されています。

【カルシウムの食事摂取基準】

推奨量	男性	女性
18～29歳	800mg	650mg
30～49歳	750mg	650mg

しかし国民健康・栄養調査によると、日本人のカルシウム摂取量は長年にわたって不足傾向です。令和6年の調査では、カルシウムの摂取量の平均は男性で489mg、女性で476mgと、どの年代でも推奨量に及んでいません。

カルシウムは、次のような食品から効率良く摂取できます。

- 乳製品（牛乳・ヨーグルト・チーズ）
- 小魚（しらす・ししゃも・干しエビ）
- 大豆製品（厚揚げ、油揚げ）
- 青菜（モロヘイヤ・小松菜・チンゲン菜）
- 海藻・ごま



特に牛乳コップ1杯(200ml)にはカルシウムが約220mg含まれており、毎日の食事に取り入れやすい食品のひとつです。

骨を強くするためには、食事に加えて適度な運動も効果的です。運動のポイントは、骨に刺激をあたえること。ウォーキングのほか、「その場でジャンプ」「つま先立ちをしてかかとを落とす」といった動作も有効です。

また、日光にあたりビタミンDが体内で合成され、カルシウムが骨に沈着されやすくなります。毎日適度に日光浴をすると良いでしょう。日焼けが気になる方は、手のひらだけ日にあてるのもおすすめです。

食事・運動・日光浴の3つを組み合わせ、骨の健康を守りましょう。



ブナの里白神館



10月15日～18日に、西目屋村を舞台に「国スポ」のカヌー(スプリント)競技大会が開催されます。全国から選手や大会関係者の皆さまが西目屋村を訪れ、熱戦が繰り広げられることを、私たちも大変楽しみにしています。

ブナの里白神館にも、大会関係者の皆さまにご宿泊いただけます。西目屋村を訪れる皆さまに、心地よく過ごしていただけるよう、スタッフ一同おもてなしの心でお迎えします。

地域の一員として、国スポの成功と選手の皆さまのご活躍を心より応援しています！

社会福祉協議会だより

赤い羽根共同募金運動にご協力ください

10月から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。西目屋村で寄せられた募金は、西目屋村の地域福祉活動に活用されています。

高齢者や子どもたち、障がいのある方など、地域で暮らす皆さんを支えるさまざまな活動に役立てられています。

「じぶんの町を良くするしくみ。」

皆さまの温かいご理解とご協力をお願いします。

▼問い合わせ先

社会福祉法人西目屋村社会福祉協議会内

西目屋村共同募金委員会

西目屋村大字田代字神田57

受付時間：8：15～17：00（土日祝休み）

電話：0172-85-2255

消防だより

秋の火災予防運動

10月19日(月)から25日(日)までの1週間、県下一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。この季節は日増しに寒くなり、火を取り扱う機会が多くなります。暖房器具の点検はお済みですか？ちょっとした油断や火の取り扱いの不注意が火災の原因になることがあります。

ご自宅の住宅用火災警報器は正常に作動していますか？ 尊い命や貴重な財産を守るため、いざという時に機能するか確認してみましょう。なお、取り付けは義務ですので、まだ取り付けしていない人は早めの設置をお願いします。

また、「住宅防火 いのちを守る10のポイント（4つの習慣・6つの対策）」を実行し、自分の家は自分で守るよう心掛けましょう。

○4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こたろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

○6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこたろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。

⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

■問い合わせ先

消防本部予防課（弘前市大字本町 電話 32-5104）
または最寄りの消防署、分署へ

【危険物取扱者試験事前講習会】

「人・街を守る」社会に必要なとされる国家資格取得試験にチャレンジしませんか。

▽とき

10月30日（金）、午前9時30分～午後4時30分

▽ところ

黒石消防署（黒石市追子野木一丁目576番地）
2階大会議室

▽対象者

乙種第4類危険物取扱者試験受験予定者

▽受講料

受講料は2,000円（弘前地区消防防災協会加入事業所の方は無料）、テキストについては申込時にお知らせします。※受講料は講習日に会場にて集金します。

▽申込受付期間 10月1日（木）～10月21日（水）

▽申込先

消防本部予防課または最寄りの消防署、分署

▽問い合わせ先

消防本部予防課（電話 0172-32-5104）

西目屋村災害発生状況 令和8年8月末現在

	救 急	火 災	救 助	遭 難
8月件数	2	0	0	0
累 計	36	0	2	0

議会定例会 について

令和8年度第3回定例会が9月8日から14日まで開かれました。

審議された案件及び一般質問の概要をお知らせします。

全議案すべて可決されました。

報告第17号
報告第18号
議案第41号

議案第42号
議案第43号
議案第44号
議案第45号
議案第46号
議案第47号
議案第48号
議案第49号
認定第1号
議案第2号
議案第3号
議案第4号
議案第5号
議案第6号

令和7年度西目屋村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
一般財団法人ブナの里白神公社第32期決算報告
西目屋村議会議員及び西目屋村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
西目屋村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例
令和8年度西目屋村一般会計補正予算（第3号）
令和8年度西目屋村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
令和8年度西目屋村介護保険特別会計補正予算（第2号）
令和8年度西目屋村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
令和8年度西目屋村簡易水道事業会計補正予算（第2号）
令和8年度西目屋村農業集落排水事業会計補正予算（第1号）
西目屋村固定資産評価審査委員会委員選任の件
令和7年度西目屋村一般会計決算の認定について
令和7年度西目屋村国民健康保険事業特別会計決算の認定について
令和7年度西目屋村介護保険特別会計決算の認定について
令和7年度西目屋村後期高齢者医療特別会計決算の認定について
令和7年度西目屋村簡易水道事業会計決算の認定について
令和7年度西目屋村農業集落排水事業会計決算の認定について



議席番号5番 三上 金一 議員

耕作放棄地について

問 村の農地の耕作地及び耕作放棄地の農産物別の面積について伺う。

（回答）（農業委員会）

令和7年作物統計調査の結果から、村内の耕作地は田が182ヘクタール、畑は161ヘクタールで、合計343ヘクタールです。

遊休農地についてですが、農作物の作付が行われていない状況でも、所有者が農地として維持管理する意思があること、または、今後農地として利用される可能性を必ずしも否定できないこと等の理由から、現在、農業委員会として遊休農地に指定している農地は村内にはございませんが、農地パトロール等により村内に管理不十分な農地が散見されている現状については、十分に認識しているところであります。

管理が不十分と農業委員会で判断している農地は田が0.6ヘクタール、畑が13.1ヘクタールで、合計13.7ヘクタールとなっております。

その他 公共施設の老朽化対策について、村の防災について



議席番号3番 熊谷 壽一 議員

西目屋村の農業産出額について

問 昨年の産出額が10年前、20年前と比較してどうなっているか伺う。

（回答）（産業課）

農業産出額は、農林水産省が行う「市町村別農業産出額」という調査により公表されており、昨年の農業産出額がまだ公表されていないため、令和6年の村の農業産出額についてお答えいたします。令和6年の農業産出額は5億6千万円となっており、その10年前の平成26年は9千万円、20年前の平成16年は1億4千万円となっております。

平成26年が極端に低い理由は、

- ・米が豊作となり市場の在庫が過剰となり、米価が大幅に下落した年
- ・農林水産省の統計の算出方法が変更

その他 農業関係の補助金について、農業委員会について



議席番号4番 齊藤 晃 議員

除雪事業について

問 今年度の除雪体制について伺う。

（回答）（建設課）

今年度、令和8年度の除雪体制については、現段階では決定しておりませんが、昨年同様、除雪ドーザー9台、ロータリ除雪車3台、除雪隊員10人の体制で臨む予定としております。

なお、除雪隊員の人材につきましても、健康状態等を確認の上、昨年度と同じ方々にお声がけする予定としております。

その他 白神公社の運営について



議席番号2番 檜山 重昭 議員

西目屋村特産果樹苗木導入助成事業について

問 今後の取組について伺う。

（回答）（産業課）

現在村では、西目屋村特産果樹苗木導入助成を行っておりますが、りんごや桃、ぶどうなどの特産果樹の苗木代の購入に対して、1本2,000円を上限とする2分の1の補助を行っているところです。

今後の取り組みにつきましては、今年3月の定例会の一般質問でも述べたとおり、令和9年度以降は特産果樹に限らず、ヘーゼルナッツも含めた果樹や山菜、野菜、景観作物など、幅広い品目も対象とし、遊休農地対策となるような制度内容を今年度中に検討してまいりたいと思います。

その他 白神公社について



議席番号1番 成田 和彦 議員

公社について

問 公社の現状について伺う。

（回答）（産業課）

白神公社の経営状況についてですが、令和8年4月から8月までの当期純利益見込みは、503万1千円となっております。

なお、令和7年度の同期間の純利益の累積は248万5千円となっており、令和7年度と比較すると令和8年度の金額が増加しているものの、白神公社が経営補助金なしで、黒字を出していた令和6年度は、同期間純利益が1,185万2千円となっており、令和6年度と比較すると、約2分の1の純利益となっております。

その他 暗門について

つがるの話題が
盛りだくさん!

津軽広域 連合だより



中野もみじ山ライトアップ

黒石市

1802年に京都から取り寄せられた楓苗を移植してから、紅葉の景勝地として知られる「中野もみじ山」。樹齢100年を超えるもみじが約130本あり、あたり一面が鮮やかな紅葉で覆われます。夜間はライトアップされ、昼間とは一味違った景色を見られます。ライトに照らされた紅葉と不動の橋は圧巻で、2023年には『『じゃらん』圧巻! 夜の紅葉絶景ランキング』で1位を獲得しました。



●日程 10月24日(土)～11月8日(日)
ライトアップは16時30分～21時

●場所 中野神社

■問い合わせ先 黒石市観光課観光振興係
電話 0172-52-2111 (内線647)

ふじめぐり総選挙2026

藤崎町

藤崎町内の参加店舗でお買い物をし、500円以上のレシートを3店舗分集めると、豪華賞品の抽選に応募できます。賞品は、参加店舗で使える商品券10万円分～2千円分のほか、藤崎町特産品詰め合わせセットなどが合計150名様に当たります!

また、応募時にお気に入りのお店に投票していただき、藤崎町のお店No.1を決定します。

イベントの詳細は「ふじめぐり」で検索!



●開催日時 12月13日(日)まで

■問い合わせ先 藤崎町経営戦略課 電話 88-8258

市町村イベントカレンダー

開催日	イベント名	問合せ先	開催日	イベント名	問合せ先
9月30日～10月12日	スポット企画展 「鎌田慧セレクション ー現代の記録ー」完成記念展	弘前市立郷土文学館 37-5505	11月14日～15日	収穫感謝祭&シクラメン市	田舎館村企画観光課 58-2111
10月9日～12月25日	ヒカリノアゼミチ	田舎館村生涯学習課 58-2111	11月14日～15日	第14回ふじさき秋まつり	同実行委員会事務局 (藤崎町経営戦略課) 88-8258
10月23日～11月8日	まちなかクラフト村 弘前工芸舎・秋限定企画展	弘前市工芸舎運営委員会事務局 (弘前こぎん研究所内) 32-0595	11月14日～15日	第21回文化センターフェスティバル	弘前市立中央公民館 33-6561
10月25日	ふじさきハロウィン2026	ふじさき食彩テラス 65-3660	11月14日～15日	第24回弘前・白神アップルマラソン	弘前・白神アップルマラソン実行委員会事務局 88-8399
10月25日、11月8日	ひらかわトラックマーケット	平川市農林課 55-5898	～11月中旬	板柳町ふるさとセンターりんご収穫体験	板柳町ふるさとセンター 72-1500
10月下旬	いかりがせき紅葉と収穫祭	一般社団法人平川市観光協会 40-2231	11月21日～22日	黒石市・宮古市姉妹都市締結60周年記念「第35回黒石りんごまつり」	同実行委員会(事務局黒石商工会議所内) 52-2111
10月下旬～11月上旬	猿賀公園紅葉まつり	一般社団法人平川市観光協会 40-2231	11月下旬～R9/2/14	ひらかわイルミネーションプロムナード	平川市商工観光課 55-5732
10月30日～11月8日	弘前城菊と紅葉まつり	弘前市立観光館 37-5501	11月29日	まるごと大鰐秋の感謝祭	まるごと大鰐実行委員会(大鰐町企画観光課内) 55-6561
11月7日～11月8日	津軽の食と産業まつり	同運営協議会事務局(弘前商工会議所内) 33-4111	～12月6日	企画展3「江戸と弘前」	高岡の森弘前藩歴史館 83-3110



津軽広域連合は、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村の8市町村により、要介護認定審査・障害支援区分判定審査のほか、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。

※イベントの詳細は
津軽広域連合ホームページで
ご覧ください。



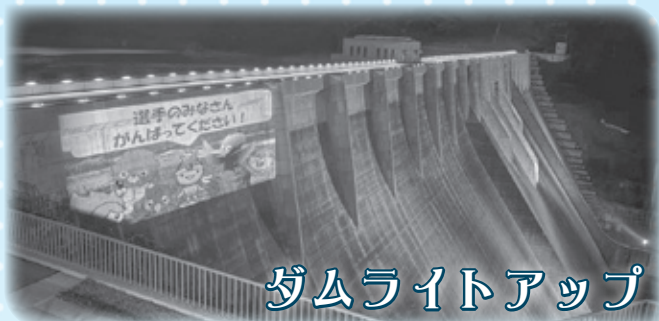
自衛官募集案内

募集種目	資 格	受付期間	試 験 日
陸上自衛隊 高等工科学校生徒 (推薦試験)	15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業(卒業見込みを含む)または同等以上の学力を有し、中学校長等の推薦を受けられる方	令和8年10月1日～ 令和8年11月27日 まで	令和9年1月9日～ 令和9年1月11日までの間の 指定する1日
陸上自衛隊 高等工科学校生徒 (一般試験)	15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業(卒業見込みを含む)または同等以上の学力を有する方	令和8年10月1日～ 令和9年1月14日 まで	令和9年1月23日又は 令和9年1月24日のいずれか 指定する日
第3回 一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、 33歳に達していない者)	令和8年9月15日～ 令和8年11月20日 まで	【WEB】 令和8年11月28日～ 令和8年12月6日 ※いずれか1日を指定されます。
第3回 2等陸・海・空士 (任期制自衛官)	18歳以上33歳未満の者		未定 ※試験日については、 決定次第お知らせします。

※ 受験資格等の詳細につきましては、自衛隊弘前地域事務所までお問い合わせください。

《問い合わせ先》

〒036-8093 弘前市城東中央3丁目9-19 自衛隊青森地方協力本部弘前地域事務所
電話・FAX 0172-27-3871



ダムライトアップ

岩木川ダム統管理事務所は、「青の煌めきあおり国スポ」の開催や紅葉シーズンに合わせて、浅瀬石川ダムと津軽ダムで秋のライトアップを行います。記念シールの配布や国スポを盛り上げる動画の投影も予定しています。

- ▼期間 10月9日(金)～11月8日(日)
- ▼時間 16時30分～21時
- ▼場所 浅瀬石川ダムおよび津軽ダム

開催についての最新情報は、
HPをご覧ください。



○問い合わせ先

岩木川ダム統管理事務所調査課 電話 85-3031

自動車税の 減免制度のお知らせ

身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育(愛護)手帳、精神障害者保険福祉手帳の交付を受けている方またはその方と生計を一にする方が、これらの手帳の交付を受けている方の生業、通院、通学などのために自動車を利用している場合で、その障がいの程度や自動車の使用状況などが一定の条件に該当するときには、申請により自動車税の減免を受けることができます。

詳しくは中南県税事務所までお問い合わせください。

※軽自動車税については、市町村の財務担当課にお問い合わせください。

■問い合わせ先

中南県税事務所 納税管理課
電話 0172-32-4341 (直通)



にしめやPRガールズ「ライスボール」の皆さんが、村内の水田を活用し、「ライスボールのおにぎり大作戦」を実施しています。

5月に田植えをした苗が順調に育ち、黄金色に色づいた稲は収穫の時期を迎え、9月に稲刈りを行いました。3年目となるコンバインの運転は、もはや手慣れた操作で順調に刈り取りを行うことができました。

幾三米の稲刈りについて



9月20日、好きです西目屋ふるさと親善大使の吉幾三さんが来村し、『幾三米』の稲刈りを行いました。

吉さんがバインダーで稲刈りを始めると、たしろ保育園園児の皆さんが、「吉さん頑張って」と声援を送り、吉さんは笑顔で声援に応えながら、作業をしていました。

刈取りした稲は、皆で協力し、棒掛けして終了となりました。

稲刈り後に、吉さんは「園児の体力に負けました。皆さん元気ですばらしい。」とコメント。

日曜日にもかかわらず参加してくれた、たしろ保育園の関係者の皆様、ありがとうございました。

収穫された米は、道の駅津軽白神で『幾三米』、特別純米酒『吉』『幾三』及び『米粉稲庭うどん』として販売されますので、ぜひ、お試しください。

2026年10月1日(木)から弘南バス・路線バスの運賃が変わります。 弘前市発着の路線は「最大500円」でご利用いただけます！

弘南バスでは、2026年10月1日(木)より、路線バスの運賃改定を実施いたします。

尚、引き続き弘前市を発着する路線の運賃は、一律上限500円となります。

また、運賃のお支払いには、便利な交通系ICカード「Mego!Ca（メゴイカ）」やSuicaなどの交通系ICカードをご利用いただけます。ICカードなら、乗車・降車時にタッチするだけでスムーズにお支払いできます。現金を用意する手間もなく、バスをより便利にご利用いただけます。

通勤・通学や買い物、通院など、日常の移動にもぜひ路線バスをご利用ください。

※詳細は、弘南バスホームページでご確認ください。

これからも地域の皆さまの身近な交通手段として、安全・安心なバス運行に努めてまいります。

建築大工技能検定実技試験対策講習受講生募集のお知らせ

主に中小企業に在職中の方を対象とした技能検定対策講習を実施します。

【と き】

（現寸図・墨付）

12月2日(水)、4日(金)、7日(月)、9日(水)、11日(金)

（加工・組立）

1月13日(水)、15日(金)、18日(月)、20日(水)、22日(金)

午後6時～午後9時

【と ころ】

弘前高等技術専門学校（弘前市大字緑ヶ丘一丁目9-1）

【定 員】

各10名

【受講料】

各1,300円

【募集期間】（現寸図・墨付）

11月4日(火)～11月11日(水)

（加工・組立）11月4日(火)～12月7日(月)

【申込方法】

メール又は郵送でお申し込みください（募集締切日必着）。募集開始初日より、当校HP上の受講申請フォームからお申込みできます※受講申込書は当校HPからダウンロードできます。詳細は当校ホームページをご覧ください。

＜HP＞

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/sangyo/hi-gisen/hi-gisen_zaisyokusya_01.html

【問い合わせ先】

弘前高等技術専門学校 在職者訓練担当

電話 0172-32-6805

E-mail hi-gisen@pref.aomori.lg.jp

エコな裂き織り体験教室 参加者募集

不用になった布と身近な道具を活用して、エコな裂き織りのオリジナル「ミニポーチ」を作ります。

■と き 11月7日(土) 午前9時30分～正午

■ところ 弘前地区環境整備センター プラザ棟
(弘前市大字町田字筒井6-2)

■定 員

小学生以上15人

※小学生の参加は保護者の同伴が必要です。

■参加料 無料

■持ち物

不用な布2枚(約30cm×30cmサイズ)

※作業しやすく汚れても構わない服装でお越しください。

■申込方法

10月23日(金)までに電話またはEメール(教室名・氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号を

記入)でお申し込みください。

E-mail: plaza-ebarahirosaki@ebara.com

※応募1回につき2人まで応募できます。応募多数の場合は抽選で決定し、10月30日(金)までに応募者全員に結果を通知します。詳細はプラザ棟ホームページをご覧ください。



■問い合わせ・申込先

弘前地区環境整備センター プラザ棟

電話 36-3388

受付時間 午前9時～午後4時

※月曜日は休館日です。

月曜日が祝日の場合は翌日が休館日です。

西目屋村産「和栗」今年も買います!

①自然に落下した栗を拾いサイズ別に選別します。

〈選別方法〉

A品…4cm～ B品…3cm～4cm

(※3cm未満、虫食いは買取不可)

②真水に一晩漬け置いたものを、ブナコ西目屋工場で受付します。

(※塩水に浸さないでください。また、持ち込み前にお電話ください。)

③買取元で再選別し、2～3週間後にお電話にて買取金額を通知します。

〈買取金額/1kg〉

A品…700円(税込) B品…400円(税込)

④ブナコ西目屋工場にて買取金をお支払いします。

(※振込希望の方は、受付の際にご相談ください。)

■集荷場所

ブナコ西目屋工場(旧西目屋小学校)

〒036-1411 中津軽郡西目屋村田代稻元196

■受付時間

工場営業日の9:00～16:00

(12:00～13:00を除く)

(※工場は不定休のため事前にお電話ください。)

■問い合わせ先

ブナコ西目屋工場(電話0172-88-6730)

お電話にて「栗の買取について」とお伝えください。

にしめやあんしんメールのご利用について



LINE



メール

村では、災害時の防災情報や平時の村からのお知らせなどをLINEやメールで受け取ることができる「にしめやあんしんメール」を運用しています。

誰でも無料で利用できますので、登録のうえご利用ください。

農業集落排水に加入しましょう

農業集落排水(下水道)は、水環境の悪化により生態系などに様々な影響を及ぼす生活排水を集めて、きれいな水に処理することによって、農業用排水及び河川の水質改善を図り、快適な生活が送れるようになります。

排水設備工事や水洗便所改造工事をする場合は、役場建設課(電話85-2802)までご連絡ください。



「戸籍の窓」は原則として「本籍が西目屋村にある方」で、「届出が西目屋村に提出され、掲載希望の確認ができた方」を掲載しています。当村に本籍がなくても掲載を希望する方は広報係までお申し出ください。



R8.8月末現在（ ）は前月比

村の人口

男 性	537人 (-1)
女 性	614人 (+4)
合 計	1151人 (+3)
世帯数	520世帯 (+1)

収入保険

始めよう!
青色申告

■ 青色申告 1 年目から加入可能に

農業者のみなさん！

リスクへの備えはできていますか？

収入保険はあらゆるリスクから農業経営を守ります！

青色申告の実績期間が短縮されたことで、令和 9 年から青色申告をされる方であれば、令和10 年 1 月から収入保険に加入することができます。

【令和10年に青色申告 1 年分のみで新規加入する「個人農業者」の場合のスケジュール】



■ 問い合わせ先

青森県農業共済組合 ひろさき支所
電話 0172-28-5700

空き家相談会

宅地建物取引士、建築士、司法書士の相談員が中立的な立場で相談に応じます。

(弘前会場)

日時：令和 8 年 11 月 1 日 (日)

午前 10 時 30 分～午後 2 時

(但し、正午～午後 0 時 30 分を除く)

場所：弘前市民文化交流館

多世代交流室 1 (ヒロコ 3 F)

内容：空き家・空き地に関する相談、適正管理や有効活用、住宅に関する相談など。

※事前予約可 (予約優先)

■ 申込・問い合わせ先

青森県宅地建物取引業協会

電話 017-722-4086

Next innovation
会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■ 本 社 / 青森市三内字丸山393-270 (西部工業団地内) TEL.017-761-5301
■ 弘前営業所 / 弘前市大字神田3-2-3 (角弘前支店 2 F) TEL.0172-35-0882

創業99周年 NMC 自然と人を大切にした新・建設をテーマに

株式会社 村上組

代表取締役社長 村上 公洋

青森県弘前市大字神田1丁目2-1 TEL.0172-35-6111

住宅から街づくりまで
あなたの夢をカタチにします
常設展示場 10:00 - 17:00
TEL. 0172-35-6118

募 集 中

- ★土木 / 建築 技術者社員
- ★大型運転手

気になる方は SNS をチェック!

光と快適環境を創造する

電気設備工事・太陽光発電設備・電気土木工事

嶋津電気株式会社

弘前市大字八幡町2丁目7番地6 ☎0172-34-3736



青の煌めきあおもり国スポ

2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会



第80回国民スポーツ大会カヌースラローム・ワイルドウォーター競技が9月4日～7日に目屋溪谷岩木川カヌー競技場で行われました。青森県選手団は、今大会県勢初の優勝を飾るなど、日頃の努力の成果として輝かしい成績を収めました。おめでとうございます！



【カヌースラローム競技】

- ・成年男子カヤックシングル
矢澤 一輝 選手 25ゲート／第4位入賞 15ゲート／第5位入賞
- ・成年男子カナディアンシングル
葛原 颯介 選手 25ゲート／第8位入賞 15ゲート／第8位入賞
- ・成年女子カナディアンシングル
岡村 知波 選手 25ゲート／第6位入賞 15ゲート／第6位入賞

【カヌーワイルドウォーター競技】

- ・成年男子カヤックシングル
西澤 悠成 選手 1500m／優勝 スプリント／第2位入賞
- ・成年女子カヤックシングル
佐藤 友香 選手 1500m／優勝 スプリント／第3位入賞



続くカヌースプリント競技に向けて、
青森県選手団の応援をよろしくお願いいたします！

問い合わせ先

青の煌めきあおもり国スポ
西目屋村実行委員会



国スポに関する
お知らせや最新情報



10/15(木)～18(日)は
カヌースプリント開催！
会場の津軽白神湖
特設カヌー競技場へ、
ぜひ応援に来てね!!



私がカヌー競技を初めて生で見たのは、2023年6月の白神カップ（スラローム）でした。誰よりも早くゴールへ向かうためのスピード、パドルを漕ぐためのパワー、激流に負けないためのスタミナ、そしてゲートの位置や川の流れに対応するためのテクニックの4つすべてが問われる…素人目線言えばこんな感じですが、選手の皆さんはそのすべてが問われるこの競技を楽しむことができすごいな、と脱帽してます。